

事務事業名	21117 スポーツ振興事業													
担当組織	市民生活部				文化スポーツ課				担当	スポーツ担当				
組織コード	H30	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	H30	01	10	05	01	02	01	記入日	平成30年06月05日
	H29	13	10	00		H29	01	10	05	01	02	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補	
基本目標	01	子どもの成長と生涯にわたる学びのまち										○ 対象 ● 対象外		
分野	05	スポーツ・レクリエーション												
施策	14	スポーツ・レクリエーション活動の推進												
事業期間	平成16年度～平成33年度													
根拠法令 通達等	スポーツ基本法				関連計画 施政方針	戸田市スポーツ推進計画								
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
対象	市民等													
事業目的	スポーツ・レクリエーション活動の振興、推進を図り、市民が生涯を通じてスポーツ・レクリエーションに楽しむことのできる環境をつくる。													
事業内容	スポーツ振興全般に係る事務。スポーツ推進審議会を開催し、市のスポーツ振興に関する提言、助言を受け事業に反映する。													
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()													

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		平成29年度 執行額(千円)	平成30年度 予算額(千円)	平成31年度 計画額(千円)	平成32年度 計画額(千円)	平成33年度 計画額(千円)	
	事業費		3,232	3,334	3,334	3,334	3,334	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	6	6	6	6	
	一般財源		3,232	3,328	3,328	3,328	3,328	
	人件費		2,758.8	2,758.8	2,758.8	2,758.8	2,758.8	
	投入 人員	常勤職員	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人	
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費		5,991	6,093	6,093	6,093	6,093		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H28目標 H28実績	H29目標 H29実績	H30目標 H30実績
	活動①	スポーツ推進審議会開催日数	日			2	2	2
		大会出場選手助成制度の周知活動	回			2	2	-
	成果①	全国大会等出場選手助成数	人			3	2	2
						0	1	-
	成果②					40	40	50
					35	55	-	
目標達成 状況 の分析	B: 活動・成果のいずれかを達成した。							
	<判断理由> 戸田市スポーツ推進審議会を2回開催し、戸田市スポーツ推進計画の進捗状況、戸田市スポーツ賞表彰規則の内容について審議した。また、東京2020オリンピック・パラリンピック事業の進捗状況について報告した。大会出場選手助成制度の利用者数は増加した。							

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	27年度	28年度	29年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> スポーツ推進の根幹をなす体育協会、レクリエーション協会を始めとした団体を構成員としたスポーツ推進審議会において、今後のスポーツ施策を協議検討している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	27年度	28年度	29年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 経費削減を意識して事業を進めている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	27年度	28年度	29年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> スポーツ推進審議会に公募市民を加え、多様な視点からの意見を取り入れることができるよう取り組んでいる。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	27年度	28年度	29年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> スポーツ推進審議会委員への適正な報酬を支払うなど、円滑な運営を図っている。

4. 平成29年度中に実施した見直し内容

見直し内容	スポーツ推進審議会では、新たに創設するスポーツ賞や、オリンピック・パラリンピック事業について報告を行った。
見直しの効果	スポーツ賞やオリンピック・パラリンピック事業を議題としたところ、具体的な体験や知識により議論が活発に交わされた。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input checked="" type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 平成31年度で終了 <input type="radio"/> 平成30年度で終了 <input type="radio"/> 平成29年度で終了
	<判断理由> 「戸田市スポーツ推進計画」で定めた取り組みの進捗状況や、計画に基づく今後のスポーツ推進の在り方について、引き続き戸田市スポーツ推進審議会からの意見を聞き、推進事業を行っていく必要がある。 また、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、戸田市スポーツ賞及び大会出場選手助成金制度の周知を図り、スポーツ競技者をより一層支援していくことで、本市のスポーツ推進につなげていく。
今後の取組方針	スポーツ推進審議会において、「戸田市スポーツ推進計画」の進捗状況を報告するとともに、審議された意見を事業に反映させながら、スポーツ情報の一元化や、地域資源の一層の活用を図り、市民のスポーツ実施率の向上に努める。

事務事業名	7556 スポーツ団体育成事業													
担当組織	市民生活部				文化スポーツ課				担当	スポーツ担当				
組織コード	H30	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	H30	01	10	05	01	02	03	記入日	平成30年06月05日
	H29	13	10	00		H29	01	10	05	01	02	03		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補	
基本目標	01	子どもの成長と生涯にわたる学びのまち									○ 対象	
分野	05	スポーツ・レクリエーション									● 対象外	
施策	14	スポーツ・レクリエーション活動の推進										
事業期間	平成17年度～平成33年度											
根拠法令 通達等	スポーツ基本法				関連計画 施政方針	戸田市スポーツ推進計画						
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの											
対象	市内スポーツ・レクリエーション団体等の会員。											
事業目的	戸田市体育協会、レクリエーション協会、スポーツ少年団等の団体を育成・支援し、生涯スポーツの普及促進を図る。											
事業内容	各スポーツ・レクリエーション団体の運営支援を行う。											
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()											

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		平成29年度 執行額(千円)	平成30年度 予算額(千円)	平成31年度 計画額(千円)	平成32年度 計画額(千円)	平成33年度 計画額(千円)	
	事業内容		スポーツ団体等の連絡調整と運営支援					
事業費			9,836	9,884	9,884	9,884	9,884	
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0	
	県支出金		0	0	0	0	0	
	起債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		9,836	9,884	9,884	9,884	9,884	
人件費			1,379.4	1,379.4	1,379.4	1,379.4	1,379.4	
投入 人員	常勤職員		0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	
	非常勤職員		0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費			11,215	11,263	11,263	11,263	11,263	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H28目標 H28実績	H29目標 H29実績	H30目標 H30実績
	活動	① 市内スポーツ・レクリエーション団体数	団体			76	75	75
						74	75	-
	成果	① 市内スポーツ・レクリエーション団体加入者数	人			21,000	21,000	21,000
						21,818	21,862	-
②							-	
目標達成状況の分析		A：活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 市内スポーツ・レクリエーション協会等の団体数は、昨年度から1団体増加して目標値を達成した。スポーツ・レクリエーション団体加入者数については堅調な数値となっているので、今後もスポーツ団体の育成にいっそう力を入れていきたい。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	27年度	28年度	29年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 各団体への育成支援を行い、各種競技の競技力向上や普及につながっている。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	27年度	28年度	29年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 各団体とも適正に運営を行っている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	27年度	28年度	29年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 各団体とも適正に運営を行っているが、更なる事務の効率化のため各団体の事務局機能の強化をさらに推進すべきと考える。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	27年度	28年度	29年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 各団体とも適正に運営を行っている。

4. 平成29年度中に実施した見直し内容

見直し内容	平成27年度よりスポーツセンターを中心にスポーツ・レクリエーション団体の連絡調整会議を設け、情報の共有及び協力体制の構築に取り組んでおり、体育協会・スポーツ少年団・レクリエーション協会の統合事務局の設置を目指して協議を重ねている。
見直しの効果	各団体が市のスポーツの情報を共有し、一元的に市民に向けて発信できるようになる土台が形成されつつある。今後も定期的な連絡調整の場を設けるなど、支援を継続していく。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 平成31年度で終了 <input type="radio"/> 平成30年度で終了 <input type="radio"/> 平成29年度で終了
	<判断理由> 健全なスポーツ・レクリエーション団体の育成は、市民の生涯スポーツを推進していくうえで、大変重要な役割を担っており、今後も引き続き効果的な運用ができるよう継続する必要がある。
今後の取組方針	補助金の枠組みの見直しや各団体の拠点の統合、またそれぞれの役割を明確にすることで、より効果的な運用ができるよう引き続き支援していく。また、各団体間の連携を図り、将来的にスポーツフェスタ等の開催を視野に置いて支援していく。

事務事業名	7528 スポーツ普及事業													
担当組織	市民生活部				文化スポーツ課				担当	スポーツ担当				
組織コード	H30	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	H30	01	10	05	01	02	04	記入日	平成30年06月05日
	H29	13	10	00		H29	01	10	05	01	02	04		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ												実施計画候補	
基本目標	01	子どもの成長と生涯にわたる学びのまち										○ 対象 ● 対象外	
分野	05	スポーツ・レクリエーション											
施策	14	スポーツ・レクリエーション活動の推進											
事業期間	平成17年度～平成33年度												
根拠法令 通達等	スポーツ基本法				関連計画 施政方針	戸田市スポーツ推進計画							
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
対象	市民全般												
事業目的	戸田市独自でスポーツ・レクリエーション教室を開催し、市民がスポーツ・レクリエーションに触れる機会を増加し、生涯スポーツの普及を図る。												
事業内容	各種スポーツ・レクリエーション教室に加えて、戸田市の地域資源を活かしたボート・カヌー教室を実施する。競技スポーツ者への支援として全国大会・国際大会に出場する市民・チームに対して助成金を交付する。												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		平成29年度 執行額(千円)	平成30年度 予算額(千円)	平成31年度 計画額(千円)	平成32年度 計画額(千円)	平成33年度 計画額(千円)	
	事業費		5,642	9,268	9,268	9,268	9,268	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	84	84	84	84	84	
	一般財源		5,558	9,184	9,184	9,184	9,184	
	人件費		6,897	6,897	6,897	6,897	6,897	
	投入 人員	常勤職員	1人	1人	1人	1人	1人	
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費		12,539	16,165	16,165	16,165	16,165		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H28目標 H28実績	H29目標 H29実績	H30目標 H30実績
	活動	①	スポーツ教室開催日数	日	各種スポーツ教室開催日数の合計	30	30	30
						32	32	-
	成果	①	スポーツ教室参加者数	人	各種スポーツ教室延べ参加者数の合計	650	600	580
						589	588	-
成果	②							
目標達成 状況 の分析		B：活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> 戸田市独自の教室として例年実施している「ボート教室」、「カヌー教室」等に関して、活動日数は達成した。参加人数について、「ボート教室」、「カヌー教室」等は前年より増加したが、「スキー教室」について、定員に満たなかったため、目標人数を達成することができなかった。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	27年度	28年度	29年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 戸田市独自のボートやカヌー教室等を実施することで、スポーツ・レクリエーションに接する機会を増加させることができた。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	27年度	28年度	29年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 経費削減に努め適正に運営を行っている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	27年度	28年度	29年度	B：事業手法は適正な内容である。
	C	C	B	<判断理由> 教室は専門的な知識を持った外部講師に委託するなど、効率的に事業を行っている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	27年度	28年度	29年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 参加費は保険料を基本としており、備品等の運搬費は経費の一部を受益者負担とし、適正な範囲で行っている。

4. 平成29年度中に実施した見直し内容

見直し内容	平成29年度第3期ボート教室から、市外在住者も対象者とした。
見直しの効果	市外でボートに興味がある人からも申し込みが来るようになり、ボート競技の普及につながった。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 平成31年度で終了 <input type="radio"/> 平成30年度で終了 <input type="radio"/> 平成29年度で終了
	<判断理由> 地域資源を活かした「ボート教室」、「カヌー教室」及び「ボート&カヌー体験教室in彩湖」は今後も引き続き実施する必要がある。
今後の取組方針	ボート教室やカヌー教室のような戸田独自の地域資源を生かした事業について、より多くの市民に参加してもらえるよう広報等の周知を行っていく。

事務事業名	7668 スポーツイベント開催事業													
担当組織	市民生活部				文化スポーツ課				担当	スポーツ担当				
組織コード	H30	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	H30	01	10	05	01	02	05	記入日	平成30年06月04日
	H29	13	10	00		H29	01	10	05	01	02	05		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ												実施計画候補
基本目標	01	子どもの成長と生涯にわたる学びのまち										○ 対象 ● 対象外
分野	05	スポーツ・レクリエーション										
施策	14	スポーツ・レクリエーション活動の推進										
事業期間	昭和59年度～平成33年度											
根拠法令 通達等	スポーツ基本法				関連計画 施政方針	戸田市スポーツ推進計画						
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの											
対象	市民等											
事業目的	スポーツ・レクリエーションイベントを開催し、市民がスポーツ・レクリエーションに接する機会の拡大を図るとともに、スポーツレクリエーションを通して戸田市の魅力を市内外に広めることにより地域資源の活性化を図る。											
事業内容	・市民主体による実行委員会方式で、市民体育祭地区大会やマラソン大会等のイベントを開催する。											
実施主体	■ 市による単独直営 □ 委託 (□ 3セク・財団 □ 企業 □ 市民・NPO) ■ 協働・協力 (実行委員会)											

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		平成29年度 執行額(千円)	平成30年度 予算額(千円)	平成31年度 計画額(千円)	平成32年度 計画額(千円)	平成33年度 計画額(千円)	
	事業費		11,680	14,801	14,801	14,801	14,801	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		11,680	14,801	14,801	14,801	14,801	
	人件費		12,414.6	12,414.6	12,414.6	12,414.6	12,414.6	
	投入 人員	常勤職員	1.8人	1.8人	1.8人	1.8人	1.8人	
		非常勤職員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	
事業費+人件費		24,095	27,216	27,216	27,216	27,216		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H28目標 H28実績	H29目標 H29実績	H30目標 H30実績
	活動①	スポーツイベント開催回数	回			4	4	3
						4	3	-
	成果①	戸田マラソン申込者数	人			7,100	6,300	6,300
						6,017	6,695	-
	成果②	戸田市民体育祭地区大会参加者数	人			8,200	8,200	8,000
8,117						-	-	
目標達成状況の分析		B: 活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> スポーツイベント開催回数については、戸田市民体育祭地区大会が雨天中止になったため、目標を下回った。戸田マラソン申込者数については、前年よりも大幅に増加となった。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	27年度	28年度	29年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 市民体育祭は市民にとって一大イベントとなっており、毎年多くの市民が参加し、スポーツをする機会を得ている。また、戸田マラソンは、市民の健康増進に寄与するだけでなく、全国から多くの参加者を得ており、戸田市の魅力を広報できる機会となっている。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	27年度	28年度	29年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> イベントの実施内容は適宜見直しており、併せて経費の効率化についても検討を行っている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	27年度	28年度	29年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 規模の大きいイベントについては、町会や関係団体で構成する実行委員会において実施内容等を決定しており、適切である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	27年度	28年度	29年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> ほとんどのイベントで適切な金額の参加費を徴収している。

4. 平成29年度中に実施した見直し内容

見直し内容	なし
見直しの効果	なし

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 平成31年度で終了 <input type="radio"/> 平成30年度で終了 <input type="radio"/> 平成29年度で終了
	<判断理由> 戸田マラソンについては、参加者の拡大を図りつつ、現状の規模で維持していく。戸田市民体育祭地区大会については、町会が中心となって実施しているが、町会未加入者が増えているため、町会未加入者でも気兼ねなく参加できるような運営方法を検討していく。
今後の取組方針	戸田マラソンについて、イベントの周知方法や参加者の募集方法を見直し、参加者の拡大を図っていく。

事務事業名	7449 スポーツ交流事業													
担当組織	市民生活部				文化スポーツ課				担当	スポーツ担当				
組織コード	H30	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	H30	01	10	05	01	02	06	記入日	平成30年06月05日
	H29	13	10	00		H29	01	10	05	01	02	06		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	01 子どもの成長と生涯にわたる学びのまち	○ 対象 ● 対象外
分野	05 スポーツ・レクリエーション	
施策	14 スポーツ・レクリエーション活動の推進	
事業期間	平成17年度～平成33年度	
根拠法令 通達等	スポーツ基本法	戸田市スポーツ推進計画 関連計画 施政方針
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの	
対象	市民、戸田市及び該当する市町村の競技団体の会員。	
事業目的	スポーツを通じて、県南4市・姉妹都市等との地域交流と競技力の向上を推進する。	
事業内容	①美里町のスポーツ交流の企画、参加 ②ポートサミット等への参加 ③交流レガッタへ市代表クルーを派遣する。	
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()	

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		平成29年度 執行額(千円)	平成30年度 予算額(千円)	平成31年度 計画額(千円)	平成32年度 計画額(千円)	平成33年度 計画額(千円)	
	事業内容		姉妹都市等とのスポーツ交流					
事業費			2,657	3,119	3,119	3,119	3,119	
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0	
	県支出金		0	0	0	0	0	
	起債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		2,657	3,119	3,119	3,119	3,119	
人件費			2,069.1	2,069.1	2,069.1	2,069.1	2,069.1	
投入 人員	常勤職員		0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	
	非常勤職員		0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費			4,726	5,188	5,188	5,188	5,188	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H28目標 H28実績	H29目標 H29実績	H30目標 H30実績
	活動	① スポーツ交流実施日数	日	都市交流事業延べ日数		15	15	15
		② ポート学生との交流イベント実施回数	回			15	14	-
	成果	① スポーツ交流事業参加者数	人	都市交流事業参加者数		1	1	1
		②				1	1	-
						400	390	390
					404	380	-	
目標達成状況の分析		B：活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> 姉妹都市交流の野球大会では初日に戸田市のチームが敗退してしまったため、実施日数及び参加者数の目標を達成できなかった。平成28年度から開始したポート学生と地域住民との交流イベントは目標を達成できた。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	27年度	28年度	29年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 姉妹都市とのスポーツ交流や市町村交流レガッタへの参加は、地域交流と競技力向上に大きく貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	27年度	28年度	29年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 主に旅費、移動を伴う賃借料、負担金及び助成金であるが、最小限度の経費で事業運営を行っている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	27年度	28年度	29年度	B：事業手法は適正な内容である。
	C	C	B	<判断理由> 姉妹都市や全国ボート場所在市町村と活発な交流が図られている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	27年度	28年度	29年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 事業の受益に対する負担が適正である。

4. 平成29年度中に実施した見直し内容

見直し内容	「ボート学生との交流イベント」として、法政大学だけでなく、明治大学、日本体育大学が参加して旭が丘町会とで交流イベントを開催した。町会の子どもたちと大学生がボートを通して交流することで、地域間の関係性が深まった。
見直しの効果	ボートコース近辺の地域住民とボート部員との相互理解が深まり、地域コミュニティの活性化に寄与した。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 平成31年度で終了 <input type="radio"/> 平成30年度で終了 <input type="radio"/> 平成29年度で終了
	<判断理由> 平成32年度には東京2020オリンピック・パラリンピックの開催と、スポーツ全般またはボート競技を市民へPRする大きなチャンスを迎える。そのことから、関係団体等とも連携を図りながら、計画的な事業の展開を実施していく。
今後の取組方針	スポーツを通じて姉妹都市等の人々とより一層交流を深めていく。加えて、ボートに関しては、オリンピック2年前イベントや500日前イベント等を行い、そのなかで、市民がボートを楽しむ機会の拡充や地域の活性化につなげていく事業を行っていく。

事務事業名	50610 オリンピック・パラリンピック推進事業													
担当組織	市民生活部				文化スポーツ課				担当	リビ ^ッ ック・パ ^ラ リンビ ^ッ ック担当				
組織コード	H30	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	H30	01	10	05	01	02	07	記入日	平成30年06月05日
	H29	13	10	00		H29	01	XX	XX	XX	XX	00		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	01 子どもの成長と生涯にわたる学びのまち	● 対象 ○ 対象外
分野	05 スポーツ・レクリエーション	
施策	14 スポーツ・レクリエーション活動の推進	
事業期間	平成29年度～平成32年度	
根拠法令 通達等	スポーツ基本法	戸田市スポーツ推進計画 平成29年度施政方針
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの	
対象	市民	
事業目的	東京オリンピック・パラリンピックを通じて「スポーツの力」を市民に伝えることで人々に希望を与え、スポーツ・レクリエーション活動の推進を図るだけでなく、文化の醸成や共生社会の実現に向けた次世代への「遺産（レガシー）」の創出を推進する。	
事業内容	オリンピック・パラリンピック事業推進本部及び実行委員会を設置し、本市におけるオリンピック・パラリンピックを通じたレガシー創出に向けて、全庁的に取り組む。	
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 (埼玉県ホ ^ッ ート協会)	

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		平成29年度 執行額(千円)	平成30年度 予算額(千円)	平成31年度 計画額(千円)	平成32年度 計画額(千円)	平成33年度 計画額(千円)
	事業費		0	2,953	5,000	6,000	3,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	2,953	5,000	6,000	3,000
	人件費		0	10,345.5	10,345.5	13,794	6,897
	投入 人員	常勤職員	0人	1.5人	1.5人	2人	1人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
事業費+人件費		0	13,299	15,346	19,794	9,897	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式	H28目標 H28実績	H29目標 H29実績	H30目標 H30実績
	活動①	気運醸成イベントの回数	回	オリパラに対する市民の気運醸成イベント実施			3
	活動②						-
	成果①	東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地の受入	国				0
	成果②	「応援プログラム」の実施事業	事業	市内における応援プログラム事業実施数			5
目標達成 状況 の分析	- : 未設定 <判断理由>						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	27年度	28年度	29年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	—	—	B	<判断理由> オリンピック・パラリンピックを契機として気運を高め、スポーツや、本市の地域資源であるボートの魅力を再認識し、市民のスポーツ・レクリエーション活動の推進していく。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	27年度	28年度	29年度	B：経費は適正な範囲である。
	—	—	B	<判断理由> 繰り返し使用できる啓発物品を作成・購入を積極的に行うだけでなく、関連スポーツ団体と協力しながら事業を進めることで、経費削減に努める。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	27年度	28年度	29年度	B：事業手法は適正な内容である。
	—	—	B	<判断理由> 関連スポーツ団体や他自治体と協働した事業を進めている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	27年度	28年度	29年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	—	—	B	<判断理由> 文化や芸能などスポーツ以外の様々な分野において取組を広め、市民に向けて広く啓発するためのイベントを実施している。

4. 平成29年度中に実施した見直し内容

見直し内容	
見直しの効果	

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input checked="" type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 平成31年度で終了 <input type="radio"/> 平成30年度で終了 <input type="radio"/> 平成29年度で終了
	<判断理由> 2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向かって、市内における気運醸成を図るとともに、この機会を通じたレガシー創出の取り組みを進めていく必要がある。
今後の取組方針	2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて、市内の気運醸成を図るとともに、本市の地域資源であるボートの魅力を広く発信していくことで、市民のスポーツ・レクリエーション活動の推進を図っていく。